

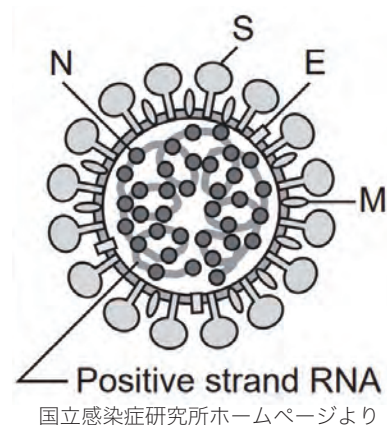
武田社ワクチン（ノババックス）について

ワクチンの特徴

武田社が国内工場で製造・流通

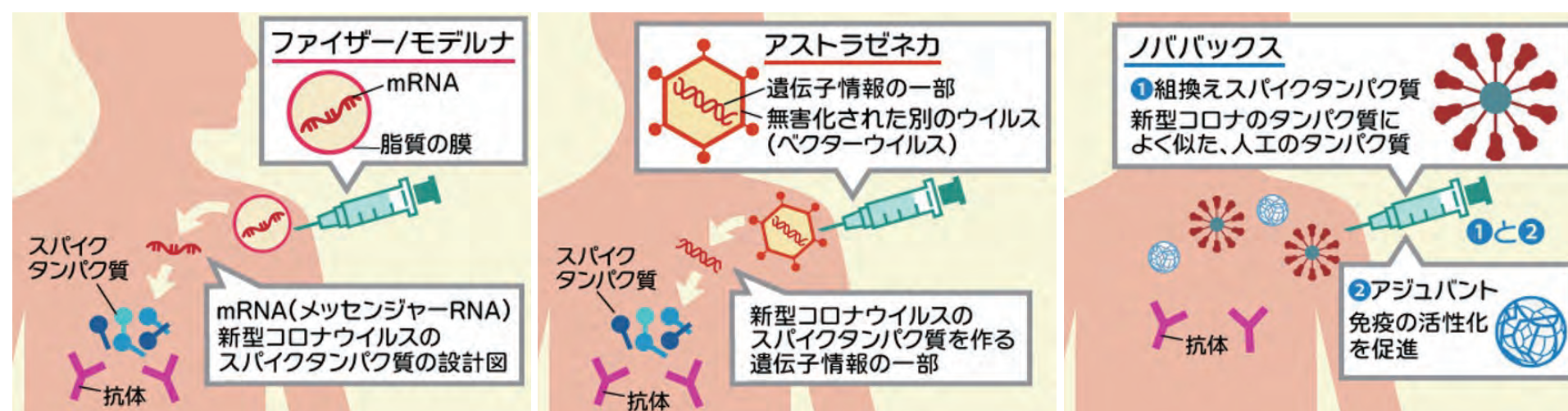
長期使用実績のある組み換えタンパクワクチン

発熱などの全身的な副反応が、mRNA ワクチンに比べて軽い可能性



共通：スパイク（S）蛋白に対する免疫応答を誘導する

*S蛋白：ウイルスがヒトに感染するとき使用する蛋白



神奈川県ホームページより抜粋

ノババックスを検討される方（私見）

- ◆ アレルギーのため、mRNA ワクチンが接種できない人
- ◆ 初回シリーズでアストラゼネカ社製を接種した人の追加接種
- ◆ 1・2 回目の mRNA ワクチンで高熱が出るなど副反応がつかなく、接種をためらっている人の追加接種



エールホームクリニック

AILE HOME CLINIC



医療法人 メディカルビットバレー

MEDICAL BIT VALLEY

武田社ワクチン（ノババックス）について

有効性データ

初回免疫（2回接種）後の有効性を評価（2つの海外第Ⅲ相試験）

	試験①	試験②
国	米国・メキシコ	英国
期間	2020年12月-2021年2月	2020年9月-11月
対象人数	約3万人	約1.4万人
2回目接種後追跡期間	64日（ワクチン群）	56日（ワクチン群）
発症予防効果	90.4%	89.7%
重症化（中等症・重症）の予防効果	100%	100%
変異株の発症予防効果（*アルファ株が主体）	92.6%	86.3%

N Engl J Med 2022; 386:531、N Engl J Med 2021; 385:1172

安全性データ

- ✓ 1・2回接種後7日間に申告された副反応データより
- ✓ いずれの副反応も**重い症状は5%未満**
- ✓ 大部分は接種後1-2日以内に現れ、1-3日程度でおさまる
- ✓ 心筋炎が試験②で1例あった以外は、アナフィラキシー、心膜炎、血栓症の報告なし

	10%以上	1-10%未満	1%未満
局所症状 （注射部位）	圧痛(75.3%) 疼痛(62.2%)	発赤・紅斑 腫脹・硬結	掻痒感
全身症状	疲労(52.9%) 筋肉痛(51.0%) 頭痛(49.9%) 倦怠感(41.0%) 関節痛(23.9%) 悪心・嘔吐(14.5%)	発熱	リンパ節症 発疹 掻痒症

ヌバキソビッド添付文書より

追加免疫での交互相種データ

- ・ 追加接種28日後の中和抗体価を評価：対照群（髄膜炎菌ワクチン接種）と比較
- ・ 副反応は、許容範囲内だった

初回シリーズ：ファイザー社製

追加接種ワクチン	ノババックス	ファイザー	モデルナ
抗スパイクIgG抗体	4.78倍	8.11倍	11.49倍
中和抗体（デルタ株）	4.94倍	6.60倍	12.58倍

初回シリーズ：アストラゼネカ社製

追加接種ワクチン	ノババックス	アストラゼネカ	ファイザー	モデルナ
抗スパイクIgG抗体	8.75倍	3.25倍	24.48倍	32.30倍
中和抗体（デルタ株）	6.25倍	2.58倍	14.43倍	27.17倍

Lancet. 2021;398:2258.

ワクチンの臨床試験結果から分かることの限界

オミクロン株以降の変異株への効果は不明

世界的な使用経験がまだ少ない

長期的な有効性や実際の副反応の頻度や程度について不明



エールホームクリニック

AILE HOME CLINIC



医療法人 メディカルビットバレー

MEDICAL BIT VALLEY

武田社ワクチン（ノバボックス）について

(1) 位置づけ

1,2 回目及び 3 回目接種に使用する臨時接種ワクチン

(2) 対象者

1,2 回目、3 回目のいずれの接種においても 18 歳以上の者

(3) 接種方法

【1,2 回目接種】

原則 20 日の間隔をおいて 2 回接種する。接種間隔が 20 日を超えた場合はできる限り速やかに 2 回目の接種を実施

【3 回目接種】

1,2 回目接種の終了後 6 月以上の間隔をおいて 1 回接種

(4) 交互相種

- ◆1,2 回目接種は同一のワクチンを原則とするが、以下の場合には交互相種が可能
 - ・ ワクチン流通の減少や転居等により、同じワクチンで 2 回接種を行うことが困難である場合
 - ・ 医師が 1 回目と 2 回目に同一のワクチンの接種を受けることが困難であると判断した場合
- ◆3 回目接種は、1,2 回目で受けたワクチンの種類にかかわらず、交互相種が可能



エールホームクリニック

AILE HOME CLINIC



医療
法人

メディカルビットバレー

MEDICAL BIT VALLEY